

「松島湾の海域環境復興を考える検討会」（第1回）を開催します

東日本大震災による津波は陸上だけでなく海域にも大きな被害をもたらし、産卵や稚魚の成長の場として重要な藻場が大幅に減少したと言われており、かつての豊かな松島湾の再生を目的として、今年2月1日に「松島湾アマモ場再生会議」が設立されました。また、塩釜市港奥部ウォーターフロント活用市民会議は、昨年10月に港奥部ウォーターフロントの将来像を提言し、干潟造成等を提案しています。

東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所では、こうした動きを支援し、市民や漁業者と連携して、松島湾の環境復興を進めるため、「松島湾の海域環境復興を考える検討会」を開催することとし、再生会議では検討会に先立ち、残っているアマモの状況を確認する現地調査を行うこととしました。

検討会では、松島湾の海域環境の重要な役割を果たしていると言われるアマモ場の現況と再生方策、そのための市民連携のあり方などについて議論を行います。

1. 松島湾アマモ場再生会議及び漁業関係者による「松島湾現地調査」の状況を公開します

- ◆日時：平成24年5月11日（金）10時00分～11時30分
- ◆場所：塩竈市越ノ浦漁港（塩竈市塩竈市越ノ浦） 船着場 ～ 桂島周辺

2. 「松島湾の海域環境復興を考える検討会」を公開します

- ◆日時：平成24年5月15日（火）13時30分～15時30分
- ◆場所：マリゲート塩釜（塩竈市港町1丁目） 3階 マリンホール
- ◆主催：東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所、松島湾アマモ場再生会議
- ◆内容：藻場の現状、検討方針と進め方
- ◆検討会参加予定機関  
国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所、東北大学  
水産総合研究センター東北区水産研究所、海辺づくり研究会  
松島湾アマモ場再生会議、漁業関係者、関係行政機関 等

3. 取材申し込み

- ◆取材希望の方はE-mail又はFAX（別添様式）により、所属、氏名、連絡先を添えて、申し込み下さい。
- ◆松島湾現地調査については、小型船に乗船しての取材を計画しており、船の手配の関係上、5月9日（水）締め切りとさせていただきます。  
検討会については、5月11日（金）締め切りとさせていただきます。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会】

【申し込み・問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所  
企画調整課 渡部（わたなべ）、山谷（やまや）  
TEL 022（362）9512 FAX 022（361）3255  
E-mail：info-shiogama@pa.thr.mlit.go.jp

FAX 022-361-3255

東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所 企画調整課行き

件名 ; 松島湾現地調査

日時 ; 平成24年5月11日(金) 9時50分集合、10時00分出航 ~ 11時30分帰港予定  
但し、天候等の都合により変更する場合があります。  
変更があった場合は、取材申し込みされた方の連絡先に個別に連絡致します。

場所 ; 塩竈市越ノ浦漁港 船着場集合 ~ 桂島周辺

■5月9日(水)17時までに、ご連絡下さい。

所属	氏名	連絡先(電話番号)	E-mail or FAX番号

件名 ; 松島湾の海域環境復興を考える検討会

日時 ; 平成24年5月15日(火) 13時30分~15時30分

場所 ; マリンゲート塩釜 3階 マリンホール

■5月11日(金)17時までに、ご連絡下さい。

所属	氏名	連絡先(電話番号)	E-mail or FAX番号